

7月の実 ブルーベリー



5月にスズランのような花をつけたブルーベリー。雨続きにもめげず、たくさんの実をつけた。虫害少なく農薬いらずのブルーベリーなので、摘みながら、ポツポツ食べられるのも、楽しみのひとつ。たくさん採れたらパイにして、もっと採れたらジャムにしてもおいしい。

映画「マイ・ブルーベリー・ナイツ」

<http://blueberry-movie.com/>

失恋した若い女性（ノラ・ジョーンズ）が、NYの夜のカフェで食べるブルーベリー・パイのシーンが話題になった、ロードムービー展開のラブストーリー。監督：ウォン・カーウァイ

七夕・データを公開中

ラパンアジルの自主調査「2010年七夕調査」をブログで公開。

<http://research-lapin.seesaa.net/>

調査実施日：2010年7月8日～10日

対象：首都圏在住 20～59歳男女

Q1：今年の“七夕”に、あなたがしたことについてお答えください。

（MA/15項目について、いくつでも回答可）

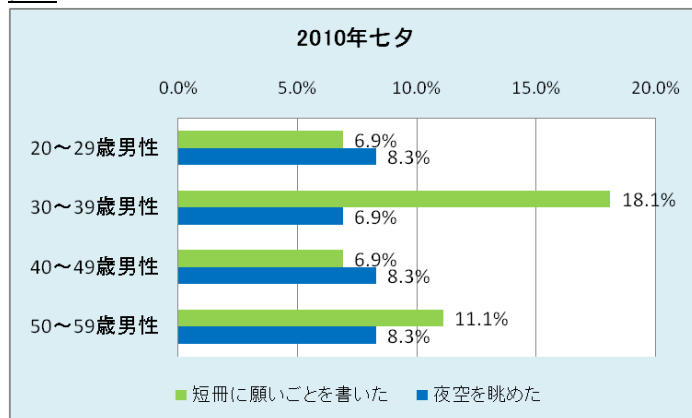
有効回答数：576/ 男性 288名、女性 288名

七夕データ

ピックアップした2項目

■短冊に願いごとを書いた ■夜空を眺めた をグラフにした。

男性

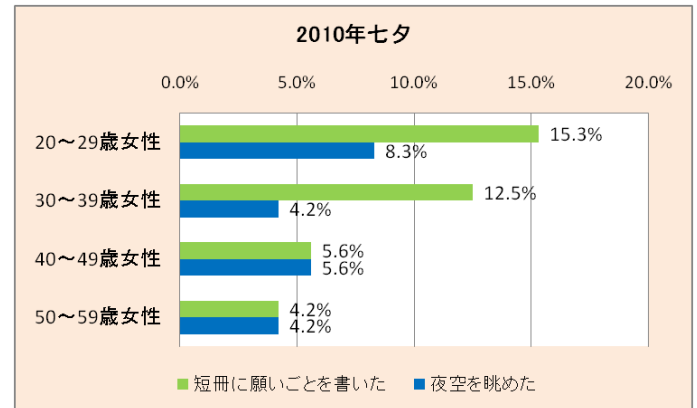


◆男性では、20代、40代、50代で「短冊に願いごとを書いた」と「夜空を眺めた」のどちらも7～11%止まりであるのに、30代男性の「短冊に願いごと」のみは18%と高い。

◆女性では男性よりさらに低めで4～8%止まりだが、「短冊に願いごと」は20代で15%、30代は12.5%と高い。

◎20代女性、30代女性、30代男性は子育て世代として、子供との関わりあいの中で、七夕への関わり度が高いものと思われる。

女性



◆「夜空を眺めた」を男女で比較すると、

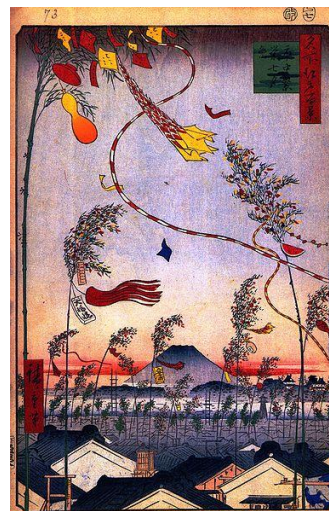
女性では、30～50代で4～5%に止まるのに対して男性では、20代、40代、50代で8%と、女性を上回る。

女性でも20代は8%あることから、帰宅時に夜道を歩くことの多い社会人 VS 主婦層のライフスタイルの違いが影響しているのか、あるいは、男性の方が夜空を眺めることを好む人が多いのか興味をわくところではある。

ただ、2010年は雲が厚く「星空が望めなかった」というお天気事情も影響していると思える。

童謡「たなばたさま」（昭和16年文部省発行『うたのほん』掲載）には「**ごしきのたんざく わたしががいた おほしきまきらきら そらからみてる**」の歌詞がある。この“五色の短冊”の五色とは、青・赤・黄・白・黒のこと。歌が作られた時代、短冊の色には中国五行の習わしが生きていたようだ。

また、昭和40年代頃までは、「夜明けの晩」という習わしになっていたので、「6日夜から7日朝にかけて」七夕行事を行ったが、今では、7日の夜に行う人が増えた。特に都会暮らしでは、子ども対応：幼稚園・保育園の年間行事 大人対応：老舗旅館・料亭の「日本の歳時記」イベントの二極化が進んでしまい、家庭行事としての盛り上がり欠ける。「笹、飾っても、あとで捨てるのに困る」といった現実の壁が大きいのかもしれないが、<天の川、牽牛星、織女星を眺めて楽しむ>アウトドア行事としてみると、梅雨時期と重なる7月7日より、旧暦あるいは月遅れの8月7日の方が、盛り上がるかもしれない。



左は、歌川広重の「名所江戸百景」のひとつ「市中繁栄七夕祭」作成年代//安政4年（1857年）

西の空に日が沈むころ高々と上げた笹飾りが風になびいて、なんとも美しい。当時の笹は、下枝を落として用いたのか、上方にだけ葉を残しているさまが、スタイリッシュに見える。